

育児・介護休業法改正

少子化の流れを変え、男女ともに子育てや介護をしながら働き続けることができる社会を目指して、育児・介護休業法が改正されます。

【改正のポイント】 ①3歳までの子の

養育のための短時間勤務制度および所定外労働（残業）の免除の義務化

②子の看護休暇制度の拡充（対象となる子どもが1人：年間5日、2人以上：年間10日） ③父親の育児休業の取得を促進（パパ・ママ育児プラス：父母ともに育児休業を取得する場合、1歳2カ月までの間に1年間取得可能。出産後8週間以内に父親が育児休業を取得した場合、特別な事情がなくても再度の取得が可能。労使協定による専業主婦（夫）除規定の廃止） ④介護休暇の新設（要介護状態の対象家族が1人：年間5日、2人以上：年間10日） ⑤法の実効性の確保（苦情処理・紛争解決援助および調停の仕組みの創設、企業名公表制度や過料の創設）

【施行日】 ①④は6月30日（従業員100人以下企業は①および④は2年以内の猶予期間あり）、⑤は、調停は4月1日、そのほかは9月30日

【説明会】 日時 2月17日（水）午後1時30分

場所 江迎町文化会館 コミュニティホール 定員 50人

【問合せ先】 長崎労働局雇用均等室 ☎ 095・801・0050

平戸大橋・生月大橋有料道路利用の皆さまへ

平戸大橋・生月大橋有料道路が4月1日（木）から無料化されることに伴い、下記の通り回数券の販売を終了し、その払戻を行います。



○回数券の販売終了 2月28日（日）

○管理事務所での回数券払戻

2月1日（月）～3月31日（水）

○道路公社での回数券払戻

2月1日（月）～9月30日（木）

※4月以降の払戻場所は、長崎県道路公社のホームページをご覧ください。

○問合せ先

長崎県道路公社 ☎ 095 - 823 - 2600

平戸大橋管理事務所 ☎ 0950 - 57 - 0600

生月大橋管理事務所 ☎ 0950 - 53 - 3380

高次脳機能障害ピア（当事者・家族）サポート相談会

交通事故や転落事故などで頭を強く打ったり、脳卒中、低酸素脳症などの病気の後退院したが、以前と比べてどこか違うと感じる人はいませんか？

もしかしたら「高次脳機能障害」かもしれません。

高次脳機能障害の当事者・家族は、生活上の不便さ、将来への不安など他人には理解しにくい現状を抱えています。

実際に経験してきた当事者・家族と悩みを共感し助け合うことで、気持ちが楽になるかもしれません。

まずは、相談してみませんか？

○日時 2月10日（水）午後1時～4時

○場所 県北保健所

○参加費 無料

○参加者 相談を希望する人

（なるべく事前に予約してください）

○問合せ先

脳外傷「ぶらむ」長崎 代表 荒木 ☎ 0957-26-8118

長崎県高次脳機能障害支援センター ☎ 095-844-5515

県北保健所 地域保健課 保健福祉班 ☎ 0950-57-3933

子供の伸びを実感してください!! 春期講習生募集

英検・数検・漢検・四谷大塚・東進模試・長崎県模試・全国模試の準会場認定校



秀明館 東進衛星予備校

松浦市志佐町里免343-1 川原ビル2F
(市役所前・親和銀行横)

お申し込みは: TEL **0120-394-106**

小学生・中学生 志佐校 松浦市志佐町里免343-1
御厨校 松浦市御厨町里免960-1

高校生 東進予備校松浦校 東大現役合格 434名
松浦市志佐町里免343-1

とき

vol.49

松浦高校放送部が 市報の音訊に参加

松浦高校放送部



▲音訊練習の様子



▲放送部のメンバー。写真前列中央が坂元美紀みき部長（2年）、後列右から黒崎暢子のぶこ先生、高尾真梨華まりかさん（1年）、萩原千晴ちはるさん（2年）、林美香みかさん（2年）、岩崎真美まみさん（2年）

松浦高校（北浦剛資校長）放送部が、市報まつうらの音訊を始めました。現在「松浦音訊の会」が行っている市報まつうらの音訊活動に、同部が参加するというものです。

同部は、現在、黒崎暢子先生を顧問に5人（2年生4人、1年生1人）で活動し、校内放送やコンテスト出場に向けて日々練習を重ねています。

平成18年には、第28回九州高校放送コンテスト長崎県大会テレビ番組部門で最優秀賞を取め、九州大会でも優勝。平成20年には、第30回九州高校放送コンテスト長崎県大会ラジオ番組部門で優秀賞、九州大会でも準決勝まで勝ち進むなどの成績を取っています。

市報まつうらの音訊を始めたのは、同校に勤務する国語科の先生から、「松浦音訊の会」を紹介されたことがきっかけ。校内放送やコンテストに向けての活動にとどまらず、地域の人の役に立てたり、経験の幅を広げたりすることは、放送部の活動にとってもプラスになると考え引き受けることにしました。

市報の音訊は、「松浦音訊の会」と同部とが担当ページをそれぞれ録音し、それを合わせて作製します。今回担当したのは、市報まつうら1月号の「まらの話題」4頁と「ALTコラム」。練習を含め4日かかりで録音を終えました。

同部部長の坂元美紀さんは「聞き取りやすいように速さなどに気を付けました。写真の説明が難しく悩みましたが、なんとか仕上げました。多くの人に利用していただいていることを自覚して、今後も音訊の活動を続けていきたいですねと話していました。

音訊の活動は、大会や試験と重ならない月には可能な限り続ける予定です。